

実験内容		主な割引内容
① 地域の活性化	地域の高速道路の更なる利活用を図る時間帯料金割引	<ul style="list-style-type: none"> ■一般有料道路の時間帯割引 <ul style="list-style-type: none"> ・ 6～9時、17～20時：5割引 -仙台東部道路、今治小松道路、京都縦貫自動車道 等 ■平日に並行する一般道で混雑する時間帯の割引 <ul style="list-style-type: none"> ・ 15～17時（又は9～17時）：3割引 -高知（南国IC～須崎東IC）、東九州道（北九州JCT～苅田北九州空港IC） 等 ■地方部における休日昼間時間帯の割引※ <ul style="list-style-type: none"> （土・日・祝日）9～17時：5割引【普通車以下、一日2回まで、100km以内の走行に限る】 -高速自動車国道注（大都市近郊区間を除く） ※平成20年9月20日より開始
② 物流の効率化	夜間の料金割引時間帯の拡大	<ul style="list-style-type: none"> ■一般有料道路の時間帯割引 <ul style="list-style-type: none"> ・ 0～4時：3割引 -仙台東部道路、今治小松道路、京都縦貫自動車道 等 ■夜間の料金時間帯の拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・ 22～23時：2割引 ・ 23時～0時：3割引 -東名（裾野IC～東京IC）、名神等（栗東IC～西宮IC等）、東名阪道等（みえ川越IC～亀山IC等） ■夜間の料金割引時間帯の拡大※ <ul style="list-style-type: none"> （平日）22～0時：3割引 -高速自動車国道注 ※平成20年9月16日より開始 ■原油高騰対策* <ul style="list-style-type: none"> ・ 0～4時：3→4割引（高速自動車国道注） <p>* 「安心実現のための緊急総合対策」による料金割引導入時に終了（平成20年10月目途）</p>

注；深夜割引や通勤割引が適用されている一般有料道路の一部も対象

料金社会実験の概要（その2）

実験内容		主な割引内容
③都市部の深刻な渋滞の解消	環状道路の料金割引	<ul style="list-style-type: none"> ■ 圏央道（中央道～関越道） <ul style="list-style-type: none"> ・ 通過交通の料金を3割引 等 ■ アクアライン <ul style="list-style-type: none"> ・ 6～9時、17～20時：5割引 （普通車：3,000円→1,500円） 等
	首都高速・阪神高速の料金割引 ＊距離別料金の導入は概ね1年後を目途	<ul style="list-style-type: none"> ■ 首都高速 <ul style="list-style-type: none"> （平日）夜間 1→2割引（昼間オフピーク 1割引） （休日）全日 1→2割引 ■ 阪神高速 <ul style="list-style-type: none"> （平日）時間帯割引 オフピーク時 5%→10%割引 等 （土休）距離別割引 0～7km:3割引, 7～15km:2割引, 15km～:1割引 等
④本四道路における物流の効率化、観光振興に資する料金割引	<ul style="list-style-type: none"> ■ 深夜割引＊ <ul style="list-style-type: none"> （平日）中型車、大型車、特大車 22時～0時：3割引、0～4時：4割引 （土休）大型車、特大車 0～4時：3割引 ■ 休日昼間割引＊ <ul style="list-style-type: none"> 普通車、軽自動車等 9～17時：5割引 	<p>※平成20年9月16日より開始</p> <p>＊平成20年9月20日より開始</p>